

あおもり藍収穫 丁寧



青い海と
森の
音楽祭

10/31-11/8

青い海と森の音楽祭公式グッズの藍染め製品の原料となる「あおもり藍」の収穫が30日、青森市飛鳥地区で始まった。

5月中旬に植えた苗は天候に恵まれ順調に生育。藍を栽培する同市のあおもり藍産業によると、昨年より1.5トン多い6トンの収量を見込んでいるという。

収穫には、同社と農事組合法人羽白開発のメンバーに加え、東奥日報社の女性



ジョシマル会員らも参加
したあおもり藍の収穫

倶楽部「女子〇（ジョシマル）」の会員ら計12人が参加。時折雨が降る中、1畝の畑で無農薬栽培した藍を次々と手摘みした。昨年も収穫に参加した会員は「去年は濃い色だった葉が、今年は淡くて鮮やか」と感想を話した。

収穫は9月中旬まで。刈り取った葉は乾燥させた後、溶剤に入れて藍の成分を抽出し、音楽祭出演者のアウトリーチ衣装向けの染料にも使われる。あおもり藍産業の中村崇専務は「気温や雨に恵まれた上、土壌改良で昨年より良質な藍ができそう。鮮やかな藍色の衣装に期待してほしい」と語った。（葛西憲悟）